

【教育目標】
明日に生きる力をはぐむ
赤小の子
 あいてを思いやり、認める子
 からだをきたえる子
 しょうらいのゆめや希望に向かって、
努力する子
 発行責任者 校長 姉帯 隆文

赤井川小学校長 姉帯 隆文

■「継続は力なり」

空高く、落ち葉が日に日に増え、徐々に秋の深まりを感じる季節になってきました。学校のそばのナナカマドの実はいま真っ赤です。先々週、体育の時間に、低・中・高ごとにマラソン記録会を行いました。それぞれ1km、1.5km、2kmの距離で、1年生にとっては初めてのマラソンでした。2年生以上は去年のタイムや今回初めて走ったタイムが目標です。子ども達は目標ができると、練習にも熱が入ります。前の記録を上回ったり、徐々に記録が上がっていったりするのがわかると、さらにやる気が出てきます。また、友達の一生懸命走っている姿を見ると、自分も頑張ろうとする気持ちが出てきます。

本番は、ご家庭から何人もの方に応援に来ていただき、子ども達もすっかりやる気スイッチが入ったようです。誰かに見られていると気持ちの入り方も違います。最後まで歩くことなく走りきったり、最高記録を出す子が続出したり、〇〇会は子どもを伸ばす一つの機会であることを実感します。本記録会は、本気で頑張る姿が見られたのと同時に、練習の成果が発揮された行事となりました。

今回のマラソン記録会のねらいは3つありました。簡単に書くと、「①持続する力に関わる体力の向上」「②目標達成に向けて練習に取り組む態度の育成」「③一生懸命に努力した姿を互いに認め、励まし合おうとする態度の育成」です。多くの子どもたちはこれらの目標を達成し、一人一人に成長が見られました。努力し続けることで、子どもは目覚ましく成長します。短い期間であってもです。まさに「継続は力なり」です。

■目標を達成したい時・・・

みなさんは、大谷翔平という人を知っていますか。今や「世界に影響する100人」にも選ばれた、アメリカ大リーグロサンゼルス エンゼルス所属の野球選手で、元北海道日本ハムファイターズの選手です。二刀流の選手として「野球の神様」ベーブルースの記録を104年ぶりに抜き、昨年度の大リーグMVPに輝きました。野球ファンでなくても今や世界中で知っている人が多い日本人となりました。大谷選手は今年もMVP候補で野球の成績が優れているだけでなく、20代でありながら人格的にも尊敬される存在と言われています。

そんな大谷選手が目標を達成するためにとった方法が以下のものです。高校入学時、プロ野球8球団からドラフト1位で指名されるという目標を達成するために書いたマンダラチャート（下記は初めて書いたもの）が下の図です。マンダラチャートとは目標とそれを実現するために、必要なことを記したものです。目標を決めるだけなら誰でもできますが、簡単な目標でもその目標を達成するのは難しいものです。興味深いのは、ドラフト1位で指名されるために、野球以外の「人間性」や「運」が必要だとし、さらに、それらに必要なものとして、「思いやり・礼儀・感謝」「あいさつ・ゴミ拾い・部屋そうじ・プラス思考・道具を大切に扱う」などを挙げているところです。野球に関することはもちろんのこと、他の面も大切にしているからこそ人としても超一流と呼ばれるまでになったのでしょう。みなさんは目標を立てたとき、どのようにしてその目標を達成しようとするのか。何もしなければ何も始まらないということだけは言えます。

本日、通知表を渡しました。子ども達の頑張りが成長の跡が記されていますので、声をかけてあげてください。そして、課題となる部分は家庭学習（自学ノート）の課題とするなど、目標として取り組んでみてはいかがでしょうか。

体のケア	サブリメント のむ	FSQ90kg	インステップ 改善	体幹強化	軸を ぶらさない	角度を つける	上から ボールを叩く	リストの 強化
柔軟性	体づくり	RSQ130kg	リリース ポイントの 安定	コント ロール	不安を なくす	力まない	キレ	下半身 主導
スタミナ	可動域	食事夜7杯 朝3杯	下肢の 強化	体を 開かない	メンタル コントロール をする	ボールを 前でリリース	回転数 アップ	可動域
はっきりとした目標、 目的を持つ	一言一葉 しな	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コント ロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに 強い	メンタル	緊張気に 流されない	メンタル	ドラ1 3球団	スピード 160km	体幹強化	スピード 160km	肩周りの 強化
波を つづらない	勝利への 執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー ボールを 増やす	ピッチング を増やす
感性	愛される 人間	計画的	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク ボール	スライダ のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に 扱う	運	審判さん への態度	遅く落差 のあるカーブ	変化球	左打者への 決め球
礼儀	信頼される 人間	継続力	プラス思考	応援される 人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォーム で投げる	ストライクから ボールに投げ コントロール	奥行きを イメージ

通知表「あゆみ」について

本日、お子さんに4～9月末までの学習の成果、足跡を記した通知表「あゆみ」を配付しました。ご家庭でお子さんの半年間のがんばりの成果を認めて頂くと共に、残りの半年の課題等について話し合っご指導いただくと幸いです。

また、あゆみには、「教科の学習の記録」以外に、「総合所見」「特別の教科道徳の様子」など、記述欄もございますので、そちらもご家庭での指導に活用して下さい。

3年生以上のお子さんのあゆみには、「総合的な学習の時間」のようす」という欄があります。こちらには、4～9月に各学級で取り組んだいくつかの学習の中から特徴的で顕著な様子について記載しています。文字数の関係から、全ての活動を網羅していませんので、あらかじめご了承下さい。

マラソン週間

9月12日からの1週間、本校はマラソン週間として、マラソン記録を取りました。

昨年より記録を更新しよう、昨日の記録より1秒でも速く走ろうと、夏休み明けからの体育の時間に練習に取り組んできました。数名のお子さんは、放課後練習に取り組んだり、少年団活動などで継続的に持久力アップの運動に取り組んだりしていたそうです。これらの姿が、児童の体力向上への意欲が高まった姿の一例ではないかと思えます。

先週、全員に記録証を配付しました。マラソンの取組はこれで一旦終わりますが、今後も本校児童体力向上のため、活動の充実に努めてまいります。

応援にお越し下さった皆様、ありがとうございました。



学校の周りの草花

札幌の北海道森林管理局から、佐野さんと宮本さんにお越し頂き、3・4年生「総合的な学習の時間～学校の周りの草花」を実施しました。今年度から実施している、地域を学ぶ学習の一環です。

まず、学校の周辺をみんなで散策し、樹木や草花のことについて学びました。佐野さんと宮本さんは、子どもたちの質問に、一つ一つ丁寧に答えてくださいました。教室に戻ってから、葉っぱを用いたリーフアートにみんなで取り組みました。とても精密な作業で、カッターで葉を切ることに、緊張しかつ集中しながら取り組んでいました。

「タンポポに似ているブタナを初めて知った。／木にオス、メスがあることがわかった。／ニラやレタス(の原種)が身近なところに生えていることがわかった。」などのふり返りに、毎日普通にすごしている学校の周りにもたくさん知らないことがあり、発見できたことへの感動が綴られていました。



防災学校

8月30日に1日防災学校を実施しました。この取組は、児童の命の安全を守るために実施しているものであり、役場や消防など、関係機関と連携して行っています。今年度の内容は「地震を想定した避難訓練」「各学級ごとの特別授業」「防災食の実食」「引き渡し訓練」と、大きく4つに分かれています。



避難の様子



低学年～防災カルタ



中学年～避難所設置体験



高学年～災害時の消防の役割



今回食べた防災食



保護者への引き渡し

1年生のふり返りの中に「カルタをして、家にあるぬいぐるみで、頭を守れることがわかりました。地震が起きたときは、足をケガしないように、裸足で逃げないようにしたいです。」と書かれていました。

次年度以降も、内容を少しずつ改善しながら、本事業を実施してまいります。「こんなこともあると良いです」といったご意見がありましたら、学校までお寄せ下さい。

都小と一緒に合同社会科見学

9月9日に3・4年生10名が、都小の3・4年生5人と一緒に社会科見学に出かけました。今年は小樽方面への見学です。

事前に直接、またリモートでの交流学習を行って、小樽市博物館などを見学しました。

社会科見学終了後、子どもたちが作成したまとめの交流会を実施します。今回のまとめ交流会は、先日、リモートでの実施いたしました。



令和4年度全国学力・学習状況調査の結果から

5月19日に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が先日発表されましたので、ご報告いたします。今年度の調査では、「国語」「算数」「理科」の3教科と、お子さんが学習に取り組む様子や日常生活の様子を調査する「児童質問紙」を実施しています。

◇国語

○全国、全道平均正答率の両方を上回ることができました。
▲長文問題の、「問われていることは何か。」「どのように答えれば良いか。」など、読解やその読み取った内容を文章化することに課題があります。

◇算数

○全道平均正答率を上回ることができましたが、全国平均からはやや下回っています。
▲割合分野を中心に、文章や図表によって条件を指定され、解法を説明する問題で、「答えを文章化することができない」という課題が見られます。

◇理科

○全国、全道平均正答率の両方を上回ることができました。
▲文章で回答する「記述式」、理科の用語を用いて端的に回答する「短答式」の問題に課題が見られます。

◎課題の解決に向けて、全校で取り組むこと

- ・様々な教科、活動において、「書く力の更なる育成」に努めます。
本校では、朝学習での「書く活動」など、「書く力」の育成に力を入れてまいりましたが、それに加え、授業や自学のふり返りを、口頭で発表させるだけでなく、文章化させるなどの取り組みを行い、「端的で論理的な文章を書ける力の育成」を目指します。その際、状況に応じて、各教科の用語（「日の光」→「日光」等）への言い換えも意識して指導します。
- ・活字に触れる場面を増やし、「読解力の育成」に努めます。
問題場面を読み取れなかったり、問われている内容がわからなかったりという課題を解決するため、宿題でまとまった分量の文章を読み取ったり、児童会の活動で読書を奨励したりするなどの取組を行います。様々な文章表現に触れることで、「書く力」への良い影響も期待できます。

◇児童質問紙から お子さんが学習に取り組む様子や日常生活の様子を調査する「児童質問紙」から推察される、本校児童の特徴的な部分についてお知らせします。

〈ICT機器の使用・ゲーム時間・家庭での学習時間〉

多くのお子さんが「家庭にはICT機器の使用についてルールがある」と回答していますが、「ルールがない」というお子さんの割合も全道比、全国比に対して高くなっています。また、「平日にゲームをする時間」について、「3時間以上ゲームしている」と回答したお子さんの割合が、全道比、全国比よりもかなり高くなっています。反面、「家庭での学習時間」は、「全くしない」と回答したお子さんはいないものの、半数以上が学校で推奨している60分を超えない「60分未満」と回答しており、全道比、全国比に比べても、家庭学習に費やす時間は短くなっています。
→今後、家庭学習（宿題・自学）に取り組む意義や意味を、再度子どもたちと確認すると共に、自分の健康のためにもゲーム時間を減らすことができるよう、指導してまいりますので、ご家庭の皆様も「家庭でのゲーム使用のルール」などをもう一度見直していただきますよう、お願いいたします。

〈学習内容を生活に生かす〉

「算数科・理科で学習した内容を日常生活に生かそうとしていますか」という問に対し、とても多くのお子さんが肯定的回答をしており、全道比、全国比よりもとても高い割合です。
→前年度から、全校で「生活と結び付く学び」を意識して指導を行ってきた成果であると思っています。しかしながら、「当てはまる」という回答よりも「どちらかといえば当てはまる」と回答したお子さんの割合が多かったので、次年度はより多くのお子さんが自信を持って「当てはまる」と回答できるようになるよう、授業改善に取り組んでまいります。

赤井川小 カレンダー 10月

本校ではブックボランティアさんに毎週1学級ずつ絵本の読み聞かせをお願いしており、8月は〇〇さん、9月は〇〇さんに読み聞かせて頂いています。

21日は5・6年生に「戦争をやめた人たち」という本を読んでいただきました。この本は第1次世界大戦の最中、ヨーロッパの戦場でクリスマスに起きた実話が元になっているお話です。

読んでいただいた感想を5年生5人に尋ねると、「クリスマス日に敵国同士と一緒に歌を歌ったり、サッカーをしたりして、仲良くなるのがとてもすてきでした」という内容の感想文を寄せてくれました。

〇〇さんに今までの読み聞かせの印象を伺ったところ、「赤小の子どもたちはいつも、真剣に絵本を聞いてくれます。娯楽や余暇の過ごし方が変わってきている時代に、『本の良さ』を子どもたちに伝えていきたいと思っています」とお答えいただきました。

赤小の子どもたちは絵本を読んでもらうのが大好きです。子どもたちがたくさん本と出会えるよう、ご家庭でも絵本を読み聞かせたり、書店や図書館にお立ち寄りいただき、子どもたちが本にふれあえる時間を持って頂けると幸いです。

日	曜日	校内行事・日課の変更・PTAの行事など	給食
1	土		
2	日		
3	月	羽球教室	
4	火	さくら・もみじ記念植樹	
5	水	児童会	スポーツ表彰式
6	木	A日課	羽球教室
7	金	食育教室(1・2年)	
8	土		
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火	学芸会特別時間割開始	
12	水	児童会(学芸会) スクールカウンセラー来校日	
13	木	A日課	羽球教室
14	金	視力検査	
15	土		軽スポーツの集い 1・2年学級レク
16	日		
17	月	全校朝会	
18	火		
19	水	児童会(学芸会)	
20	木	A日課 学芸会絵練習	
21	金		
22	土		
23	日	学芸会(午前開催・昼食無し)	×
24	月	振替休業日	
25	火	A日課・保護者面談①	
26	水	A日課・保護者面談②	
27	木	A日課 研修日	
28	金	A日課 村文化祭見学	小中連携P部会 文化伝承教室
29	土	村文化祭	
30	日	村文化祭	
31	月	A日課・保護者面談③	

保護者面談は11/1にも予定しています。